

災害廃棄物処理体制強化事業

1 事業の概要

豪雨災害など大規模な災害により生じる災害廃棄物について、処理主体である市町村が、適正かつ円滑・迅速な処理ができるよう、県、市町村、協定締結団体等と実施した仮置場設置訓練等を通じ、連携体制の強化を図るもの。

2 令和2年度実績

(1) 災害廃棄物仮置場設置訓練モデル事業

発災初動期に、市町村が迅速・適切に仮置場を設置できるよう、協定締結団体の（一社）岡山県産業廃棄物協会と連携し、仮置場の設置訓練を実施した。

- ・ 訓練日時 令和2年11月26日（木）
- ・ 訓練場所 笠岡ふれあい空港
- ・ 参加団体 岡山県、笠岡市、（一社）岡山県産業廃棄物協会
- ・ 訓練内容 プログラム① 資機材設置等訓練 … 敷鉄板敷設、散水用資機材等の設置
プログラム② 搬入車両受入訓練 … 搬入車両の受入、不適正疑い車両への対応
プログラム③ 前処理訓練 … 移動式施設による破砕、重機による畳の切断



【プログラム①：敷鉄板敷設訓練】



【プログラム③：前処理訓練】

(2) 災害廃棄物処理計画補完資料作成事業

市町村に浸水被害を想定した仮置場候補地選定を促すため、浸水被害による災害廃棄物発生量等を推計し、県処理計画の補完資料を作成した。

(3) 災害廃棄物処理対策業務マニュアル等の改訂

平成30年7月豪雨災害での経験や課題を踏まえ見直した「岡山県災害廃棄物処理計画」に基づき、発災初動期に担当者が行うべき事項等を中心に業務内容や対策を整理した「災害廃棄物処理対策業務マニュアル」を全面改訂した。併せて「市町村マニュアル策定ガイドライン」も改訂し、県・市町村の一体的な対応を目指した。

3 担当部署

環境文化部 循環型社会推進課 一般廃棄物班